

A. 日時 2012年9月5日(水) 18:00~20:00

B. 場所 建築会館 307会議室

C. 出席者 森山主査, 山田茂幹事, 広田, 山口, 仁井, 峯岸, 中濱

計7名(順序不同, 敬称略)

D. 提出資料

No. 4-1 議事録案(中濱)

No. 4-2 Handbook of Smoke Control Engineering の概要(山田幹事),

No. 4-3 7章原稿案(中濱)

E. 審議事項

1. 今後の委員会活動(資料 No. 4-2)

- ・山田茂幹事を次期主査候補とすることとした。

森山主査と協力して次年度以降の小委員会活動計画を作成し, 11月7日の防火委員会に提出することとした。

- ・今年度後半以降の委員会活動について討議し, 以下の意見が出た。

- ・グローバル化に対応するため, 国際規格を調査してはどうか。

- ・国際シンポジウムでニュージーランドの新しい検証法が報告された。その時の資料をきっかけに, 国際的な動向を勉強することも考えられる。

- ・FDSはプログラムの中身まで追うのは大変なので, 学術的に検討することは難しいのでは。

- ・廊下の安全性や排煙量をどう決めるかを検証するツールが意外とない。簡易式や多層ゾーン, FDSも含めて, 「煙性状の予測と設計ハンドブック」的なところを狙うことも考えられる。

→ 現在, 関数電卓による火災性状予測計算の改訂が行われているが, 上記検討内容を付加出来る可能性もある。

- ・以上の討議を踏まえ, 今後の委員会活動案として次の案が示された。11月の防火委員会で報告する予定。

① 国際規格の調査

- ・Handbook of Smoke Control Engineering の調査(全訳でなく, 抄録としてまとめる)

- ・ヨーロッパの基準の調査 ← 森山主査から淡野委員, 原田先生に問い合わせしてみる。

- ・支部研で過去に各国の法規を調査したことがあった。資料のありかを広田委員が調査する。

② 煙流動性状の検証ツール

2. 各章の修正状況(資料 No. 4-3)

- ・中濱から, 新7章の原稿案の進捗状況について報告があった。

- ・7.5.2章 建築基準法告示と消防法告示の計算例以外は, ほぼ原稿案が完成。

- ・7.7.2章 CFD(FDS)による付室加圧の解析は, 森山主査に作業をお願いしている。

- ・押し排煙は, 第2章でも計算式は無いため, 計算例を示さなかったが良いか。

→ 計算例は示さなくて良い。しかし, 参考文献(田中先生と久米次さんがまとめられた論文)

※ この議事録(案)を, 次回開催日にご持参願います。

は記載する。参考文献は、広田委員から本委員会メンバーに送付される予定。

- ・表 7.3.1 の設定値である実効熱伝達率は、変数を他章に合わせておく。
 - ・7.5.2 章は、BCS の加圧マニュアルを参考に冒頭 5～10 行概要を示し、計算法を抜粋する。
 - ・消防法告示は刊行予定のマニュアルから建基法告示との差異を簡単に示し、計算は載せない。
 - ・二層ゾーンモデルを用いて付室加圧の解析を行った。室内 22℃、外気 0℃と設定すると、付室や廊下の煙層が火災室からの煙流出前に下がった。外気 22℃では、この現象は見られない。
- 原因として、付室下部への冷氣導入が常温空気を煙層と見なしてしまうことが考えられる。原因チェックのため、中濱から森山主査と山田幹事へ二層ゾーンモデルのインプットファイルを送付する。

3. 改訂版煙本の進め方

- ・今回の打合せ (10/17) に向けて、各担当者は以下の作業を行う。
 - ・最終原稿 (手書き記入でも可。完成版が望ましいが、現状進んだ原稿でも可。) を PDF にするか、もしくは文章をテキスト化 (図表は挿入箇所を示すのみで、挿入やレイアウトはしなくても可) する。
(なお、旧煙本の最終原稿の文書テキストは、山田幹事から各委員に既に送付済みとのこと。このテキストを活用しても良い。)
 - ・これら原稿を本委員会のメンバー全員に、10/10 までに送付する。
 - ・各委員は、適宜必要な部分を自分の分だけ印刷し、委員会に持参する。
- ・最終原稿の体裁は、今回の打合せで検討する。
- ・山田幹事は、事務局に 10/17 時点での最終原稿案を 2 部提出する。

4. その他

- ・森山主査から、防火委員会での内容報告があった。
 - ・大会梗概の発表分野の分類 (細分類、細々分類) を見直し中。
 - ・本小委員会から、来年度のオーガナイズドセッションをエントリーするか。
→ エントリーすることに決定。タイトルや内容は森山主査と山田幹事に一任し、11 月の防火委員会で報告して頂く。
 - ・次年度の大会は北海道に決定 (8/30～9/2) 。
- ・下記のシンポジウムが開催される予定。参加をお願いしたい。
 - ・9/26 13:30～17 時「38 条認定建築物の既存不適格化による諸問題と救済策」シンポジウム
 - ・10/3 13～17 時「火災安全性能維持管理の手引き－避難安全検証による建築物の維持管理と簡易確認方法－」講習会
 - ・11/8 場所・時間未定「消防用加圧防排煙マニュアル」講習会 (仮)
- ・森山主査から峯岸委員に、本小委員会の HP 作成の依頼があった。過去の議事録等の閲覧が出来るようになる予定。

今回の委員会は、2012 年 10 月 17 日 (水) 18:00～20:00 まで、本会会議室で開催します。

議題 (1) 煙本最終原稿の確認 (2) その他話題提供 等

資料を提出される方は、あらかじめ準備 (15 部) されるか、もしくは事前 (開催 3 日前) に原紙を事務局へ送付して下さい。

(社)日本建築学会 〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20 TEL 03-3456-2051 FAX 03-3456-2058

※ この議事録(案)を、次回開催日にご持参願います。